

分野別意見交換会報告書【文教常任委員会】

日 時： 令和4年(2022年)5月22日(日) 午後1時～午後2時39分

場 所： 箕面市役所 本館3階 委員会室

団 体 名： 箕面市スポーツ推進委員協議会

(会長) 岩重 敏子 (副会長) 北後 泰祐 (副会長) 福場 洋介

(委員) 植村 明弘、清水 佐和子、末広 亨

出席議員：(委員長) 藤田 貴支 (副委員長) 尾崎 夏樹

(委員) 中西 智子、楠 政則、内海 辰郷

傍聴者数：9名(委員外議員 7名)

テーマ①：箕面市スポーツ推進委員協議会の活動内容

番号	項目	内容
1	活動内容について	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ推進を目的に、市主催スポーツ事業や地域スポーツ事業、他団体との連携協力事業の活動を効果的に円滑に遂行できるよう、スポーツ事業に参画・協議・協力・情報共有を行い、研鑽を進めている。
2	スポーツ推進委員協議会の役割について	<ul style="list-style-type: none">・スポーツ推進のための総合型クラブや地域のスポーツ団体等との連携・協働を促進することのできる人材の選考と研修の充実を支援し委員の資質の向上を図っている。
3	箕面市体育連盟との違い等について	<ul style="list-style-type: none">・体育連盟は一つの競技や競技団体を極めていくための取り組みを行っているが、スポーツ推進委員協議会は、市民の皆さんが身体を動かす楽しさや、スポーツを身近に感じただけのようなお手伝いを行っている。・大阪府の理事会の中ではコロナ禍の中、箕面市のスポーツ活動(春の子どもフェスティバル、八天石蔵ウォークトライアルなど)は評価を得ている。・運動施設が少ないと常々感じている。

テーマ②：スポーツ推進委員となったきっかけなど

番号	項目	内容
1	体育指導委員からの変化について	<ul style="list-style-type: none"> ・体育指導委員からスポーツ推進委員となり、地域や行政や市民の方との連絡調整（コーディネーター）の役割が増えた。 ・10年前に体育指導委員からスポーツ推進委員に変わった、当時体育指導委員は、競技スポーツのトップや学校の先生が行っていた。
2	スポーツ推進委員となった経過や動機、今後の活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・水泳教室のボランティア指導員（外部指導員）を経て ・地域の方から、あるいは前推進委員からの依頼 ・子どもたちといっぱい遊びたかった。 ・箕面市に対する恩返しをしたかった。 ・スポーツ推進委員という名前をもっと広めていきたい。 ・スポーツ推進委員自身が自発的に様々な事を企画して新しい事を進めていくことが今後は大事と思っている。 ・身近なところで子どもたちと関わっていくことが大事と考えている。

テーマ③：障がいのある子どもたちへのスポーツの参加について

番号	項目	内容
1	スポーツプログラム等での関わり方等について	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生、コーディネーター、指導者が声掛け・注意点などについて情報共有を行っている。 ・一人一人の子どもの情報を共有していくことが大事。 ・楽しくその時間を一緒に過ごすことに重点を置いている。 ・指導する側が意識することなく関わってくることが大切。 ・稲スポーツセンターと箕面市との連携強化。 ・バリアフリー施設の整備が必要。

テーマ④：部活の問題について

番号	項目	内容
1	総合型地域スポーツクラブについて	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方の働き方改革の中で、部活を維持していくためには、学校単独で各種の部活を行うのではなく、広域的に行う事で指導者が確保しやすくなる。また施設の充実も必要。
2	部活の方向性について	<ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校は子どもの成長過程であり重要な時期であるので基本的な身体づくりを部活で行うべき。 ・部活に取り組んでいる子どもたちを見ていただくことは普段の姿とは違った一面を見られるので大切。 ・箕面市全体で関係者が協議会を設けて議論をすべき。 ・世界で種目別に年齢制限を設ける動きがある中で、今後は競技スポーツとしてではなく生涯スポーツとして取り組んでいくことが必要。

テーマ⑤：その他

番号	項目	内容
1	自由意見（スポーツ行政の今後など…）	<ul style="list-style-type: none"> ・北小学校モデル事業で行う民間プールでのプール指導を是非とも箕面市全体に広げて欲しい。 ・一人ひとりの権利として、地域や年齢など関係なく気楽に集まって身体を動かしたり、スポーツができる場所や環境を創れる箕面市になってほしい。 ・箕面市が自信をもって発信できる盛んなスポーツを一つでいいから出来たらよいと思う。 ・アーバンスポーツができる場所が3箇所くらいほしい。 ・児童生徒が一流選手に指導してもらえる機会をもっと創ってほしい。 ・箕面市内でスポーツに関わる団体さんがもっと増えればよい。

以上